

平成 22 年度小野市当初予算

近年にない厳しい経済情勢の下 基金を活用し

2年連続の「積極型予算」 実質7.4%の増

“安全・安心、子育て、教育、環境、地域の活性化に重点”

(新規事業 約50件)

【主な事業】

- ① 北播磨総合医療センター建設の推進
- ② 福祉総合支援センターの整備（福祉組織の再編）
- ③ 安全安心パトロールの推進
- ④ 特定不妊治療費の助成
- ⑤ 中学3年生までの医療費の完全無料化
- ⑥ 保育所施設整備の助成
- ⑦ 小野中学校の校舎新築
- ⑧ 太陽光発電設備設置の助成
- ⑨ 全国ハーブサミットの開催
- ⑩ 下東条地区まちづくりの推進
- ⑪ 道路舗装整備5ヶ年計画の実施（5年間で約10億円の整備）
- ⑫ 新都市中央線の整備（新病院建設関連）

【コメント】

市税収入は、法人市民税の減少等により約65億円、対前年度比5.3%の減と近年にない厳しい行財政環境のなか、基金を活用し、子育て支援や教育、安全・安心、環境、地域活性化等に重点を置き、2年連続増となる184億円（対前年度比1.1%増）の予算を編成。また、小野中学校の校舎や体育館の新築などを含めた約11億円もの事業を前倒し、平成21年度補正予算に計上して平成22年度継続実施する事業を含めると、実質的には195億円（対前年度比7.4%増）の積極型予算となる。

基金残高は、69億円（決算見込）、地方債残高は、地方税減収のため臨時財政対策債8億円を発行するものの139億円と見込み、平成16年度のピーク時（177億円）から38億円の減少（6年連続の減）となり、財政の健全性にも配慮した。